

旅行取扱状況の概観（平成28年8月分）

下記、月次取扱額は、近畿日本ツーリスト(KNT)とKNT個人旅行、クラブツーリズム、KNT北海道、KNT東北、KNT中国四国、KNT九州、ユナイテッドツアーズ、KNT商事の合算額となります。

記

海外旅行の取り扱い、学生団体は前年比86.3%と前年を下回ったが、一般団体は同202.2%と前年を大きく上回り、団体旅行合計で同127.7%と前年を大きく上回った。企画旅行については前年比106.0%と前年を上回り、個人旅行については同93.4%と前年を下回った。この結果、海外旅行総取扱額としては、前年比109.0%と前年を上回った。

国内旅行の取り扱い、学生団体は前年比104.7%と前年を上回ったが、一般団体は同76.9%と前年を下回り、団体旅行合計で同91.2%と前年を下回った。企画旅行については前年比87.7%と前年を下回り、個人旅行については同99.7%と前年を下回った。この結果、国内旅行総取扱額としては、前年比90.0%と前年を下回った。

外国人旅行は、前年比82.7%と前年を下回った。

以上の結果、ホールディングス主要会社の8月の総取扱額は前年比95.7%となり、前年を下回った。

【主要会社の状況】

1. 近畿日本ツーリスト株式会社

海外団体については、学生団体は研修旅行などの取扱人数の減少により、前年比86.2%と前年を下回ったが、一般団体はオリンピック競技大会などの影響により、同201.3%と前年を大きく上回り、海外団体旅行合計で同127.4%と前年を上回った。

国内団体については、学生団体は修学旅行や各種大会などの取扱の増加により、前年比104.7%と前年を上回ったが、一般団体はコンベンションなどの取扱人数の減少により、同75.7%と前年を下回り、国内団体旅行合計で前年比90.6%と前年を下回った。

外国人旅行は前年の大型招致事業の影響により前年比80.8%と前年を下回った。

2. 近畿日本ツーリスト個人旅行株式会社

メイトについては、方面別取扱人数の状況では、信州方面は前年を上回ったが、他の方面は前年を下回った。この結果、取扱額で前年比84.7%と前年を下回った。

ホリデイについては、テロ等の影響が続いており、ヨーロッパ方面は引き続き不調、方面別取扱人数の状況では、アメリカ、オセアニアおよびアジア方面が前年を上回ったが、その他の方面は前年を下回り取扱額で前年比87.6%と前年を下回った。

3. クラブツーリズム株式会社

海外旅行部門は、テロや台風の影響で厳しい状況であったが、航空機チャーターなどの販売により、前年比111.2%と前年を上回った。

バス旅行を除く国内旅行部門は、北海道新幹線の開通効果が続いている北海道方面は好調であり、また、ふっこう割ツアーや限定企画などの特徴のあるツアーの動きは良かったが、他の商品が伸び悩み、前年比92.9%と前年を下回った。

バス旅行部門は、京都迎賓館などの新しい仕向け先のツアーは好調であったが、長距離のツアーを中心に伸び悩み、前年比90.8%と前年を下回った。

テーマ旅行部門は、台風などの影響はあったが、“登山”や“あるく”などのスポーツ型のツアーがけん引し、前年比113.0%と前年を上回った。